

3月14日

地域づくり総務大臣表彰受賞 日本たまごかけごはんシンポジウム実行委員会



授賞式を終え、市役所を訪れた実行委員会のメンバーと速水市長。

日 本たまごかけごはんシンポジウム実行委員会（景山智子委員長）が地域づくり総務大臣表彰（地域振興部門）を受賞されました。

東京の都道府県会館で行われた表彰式には、景山委員長ら3人が出席し、大野松茂総務副大臣から表彰状が手渡されました。

この表彰は、地域の個性豊かな発想を生かし、魅力あふれる地域づくりを積極的に推進する地域づくり団体等を表彰するもので、同実行委員会により開催された「日本たまごかけごはんシンポジウム」への取り組みが評価されたものです。

このイベント開催により、地産地消や食の見直しがすすめられたほか、関連商品が多数誕生し、市場が活性化するなど、地域振興に大きく貢献しており、今回の受賞となりました。

3月25日

世代間交流を通じて くまっ子交流の集い



木 次町下熊谷地域の見守り活動グループ「山根敏樹代表」通称「くまっ子見守り隊」が、世代間交流活動の一環としてベタタンク大会を行いました。

この大会は、世代間交流を通じた顔合わせや、新1年生の歓迎の意味を込めて開催され、地区内の子・親・会員ら75人が参加し、交流を深めました。

初めて顔を合わせる参加者の姿もありましたが、競技は終始和やかなうちにすみました。

くまっ子見守り隊では、今後も下校時の立ち番活動をはじめ、各種世代間交流を通じた交流活動を企画・取り組んでいく予定にしています。

4月5日

「みとやの民話」の 朗読CDできました



CDは3枚組み（全24話）。

三 刀屋町を中心に活動する朗読ボランティア「こだまの会（千葉弘子会長・会員27名）」が「みとやの民話」の朗読CDを作成されました。

平成9年に旧三刀屋町教育委員会が発刊した冊子を会員が朗読したもので、24話が収録されています。「学校教育や子育て支援の場で広く活用してほしい」と、市教育委員会を訪れた同会の千葉会長と石飛晶子副会長から、土江教育長がCDを受け取りました。

音響設備の整っていない公民館での録音作業は時計の音や道路を通るダンプの音に気を使いながらの作業で苦労されたとのこと。

早速、CDを聞いた教育長は、「貴重なものをいただいた。このCDを聞いて、子どもたちに心の豊かさを育んでほしい」と、注目される心の教育へ期待を込めました。

今回作成されたCD100枚は三刀屋町の小学校や公民館を中心に市内へ配布されています。

問い合わせ
鍋山公民館 0854-45-4241

ウオッチング ふるさと



3月18日

幡屋地区で消防団と 地元住民による 合同消火訓練



大 東町幡屋地区で、消防団と地元住民による合同の消火訓練が行われました。

この訓練は、幡屋・遠所・山田地区の上下水道整備に伴い新しく消火栓が設置されたため、万一の火災に備え実際に消火栓を使って消火活動をしてみよう、消防団と地元住民が協力し実施したものです。

当日は天候にも恵まれ、多くの消防団員と地元住民が参加。参加者たちは、消火栓の使用方法や放水の仕方などを確認しながら、防火意識を新たにしていました。

4月4日

加茂公民館・地域コミュニ ティセンターがオープン しました



加 茂町のなかよしホールに設置される加茂公民館と地域コミュニティセンターの開館式が行われました。新設となる加茂公民館は生涯学習・社会教育の拠点として、かもてらす内からの移設となる地域コミュニティセンターはまちづくり活動と地域自主組織の拠点として

加茂地域の発展に寄与することが期待されます。



3月23-24日

学生集団「ちちばす」御一行来市

ち ちばすが雲南市を訪問されました。

ちちばすとは、一橋大学大学院の学生 尾野寛明さんを中心に、関東地方を中心とした様々な学生が口コミで集い、マイクロバス1台で約20名が各地を訪れ、地域とのふれあいや交流を通じて学習をしながら自発的に全国行脚されているものです。

今回、3月初めに東京を出発され、23日に雲南市を訪問されました。

当日は清風荘や(株)吉田ふるさと村、木次乳業(株)を訪問され、田井公民館では地域の子ども達とのそば打ち体験をして交流を深め、地域や将来に対する想いを熱く語り合いました。

